



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe  
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN  
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

## 主 題

- |         |  |
|---------|--|
| 国際協会会長  | 「心新たに立ち上がろう」                                     |
| 藤井寛敏    | "Once More We Stand"                             |
| アジア地域会長 | 「心新たに立ち上がろう」                                     |
| 高田一彦    | "Once More We Stand"                             |
| 西日本区理事  | 「飛翔たう ワイズスピリットを胸に」                               |
| 仁科保雄    | "Forward with Y's men's spirit<br>in our hearts" |
| 六甲部部长   | 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」                               |
| 安行英文    | "Show Y's care,<br>Sow the seed of Y's"          |
| 芦屋クラブ会長 | 「各々のタレントを發揮しよう」                                  |
| 桑野友子    | "Your-God-Given-Talent,<br>Let it Shine !!"      |

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 会 長            | 桑野友子      |
| 直前会長           | 飯田義雄      |
| 副 会 長          | 堤 清 都筑省三  |
| 書 記            | 堀江哲次 羽太英樹 |
| 会 計            | 羽太英樹 堤 清  |
| 監 事            | 都筑省三 田舎庸男 |
| 連絡主事           | 橋本 潤      |
| 六甲部地域奉仕・環境事業主査 | 飯田義雄      |

# 10

Oct.2010  
第 161号

## 芦屋クラブとファンド事業の現況

福原吉孝



ファンド事業のBF<ブラザーフッド資金>とは、解説書を紐解くとワイズメンから集めた資金、使用済み切手を切手市場で換金し公式参加の旅費の資金源と記載されている。芦屋クラブでも皆様から頂いた切手を集めて毎月報告している。現在、貴重な2kgが収集されている。8月度にはIBCとしてオーストラリアのエチュカクラブと締結し代表者の訪問を受け、皆様から頂いた日本の切手1kgとオーストラリアの切手1kgを交換した。芦屋クラブの切手は現在このような収集状況である。さて今後、どのように活用すべきであろうか・・・？

これからの方向性と収集のあり方が検討課題である。収集された貴重な使用済み切手の一番良い活用方法があれば、ぜひご意見をお寄せください。またファンド事業としてすっかり定着したジャガイモファンドがある。今年もその時期がきた。毎回、西宮クラブの濱メンのご足労で北海道からトラックで搬送されてくる。毎年、ジャガイモファンドの責任者の飯田メン、堤メンを初め各会員のご協力で配布している。今年の酷暑の影響でジャガイモ収穫量に悪影響との報告があり、毎年100個以上を受注しているが、今年は、60個までに減量して欲しいとの事で残念である。毎年楽しみにしている方が多く、芦屋クラブの貴重な基金となっているだけに来年の豊作を祈りたい。最後に、CS 資金<アジアのワイズメン交流協力を役立てられた資金：お年玉付き年賀はがきの当選切手の収益>、JWF<西日本ワイズ基金<西日本のワイズ活動を支える基金で全会員の拠金、国際からの還付金が礎>等色々なファンド事業にご協力をお願いしておきたい。

## 今月の聖句

それは、わたしが神から恵みをいただいて、異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となり、神の福音のために祭司の役を努めているからです。

ローマの信徒への手紙 15:15-16

## 10月第1例会プログラム

- と き： 2010年10月20日(水) 18:30~21:00  
 と ころ： ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会： 吉岡浩一 (敬称略)  
 受 付： 島田 恒・都筑省三
- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. 開会点鐘         | 桑野友子会長     |
| 2. クラブソング斉唱     | 一同         |
| 3. 聖書朗読         | 羽太英樹       |
| 4. 食前感謝         | 飯田義雄       |
| 5. ゲスト・ビジター紹介   | 吉岡浩一       |
| 6. 食事・歓談        | 一同         |
| 7. スピーチ         | 野口義國メン     |
| 「裁判員制度 その後」     | (神戸西クラブ会長) |
| 8. ゲスト・ビジターから一言 |            |
| 9. YMCAニュース     | 橋本潤連絡主事    |
| 10. 誕生祝い        | 桑野友子会長     |
|                 | 田舎庸男・橋本 潤  |
| 11. 議事・報告       |            |
| 1) 第2例会議事録承認    | 桑野友子会長     |
| 2) 各事業委員報告      |            |
| 12. ニコニコ献金報告    | 福原吉孝(ファンド) |
| 13. 閉会点鐘        | 桑野友子会長     |

## 8月例会出席表

(敬称略)

第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 15名	出席者 15名	62gm (1,408gm)
ビジター 0名	メイキャップ 1名	飯田・吉岡メン
ゲスト 0名	合 計 16名	
メネット 0名	在籍者 17名	
合 計 15名	出席率 94.1%	ニコニコ (累計)
		11,690円 (39,904円)

## 9月第1例会報告

日時: 2010年9月15日(水)

場所: ホテル竹園芦屋 3階

司会: 井上雅司

出席者: 飯田、田舎、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、羽太、橋本、福原、堀江、渡辺

いつもより30分早い6時30分に桑野会長の開会点鐘で開始された。聖句朗読、食前感謝、食事のあと、司会の井上メンの準備資料に基づき、各メンバーから意見発表があった。



司会をする井上メン

### 9月度特別例会のまとめ

#### —EMCについて 熱く語ろう—

1) 芦屋クラブに入会を勧めたい人

具体的な対象として、

- ①教会の関係
- ②YMCAのOB・OG(名簿の入手が必要)
- ③職場の同僚(先輩・同期・後輩)
- ④学校の同窓生・同級生(同窓会・同級会への参加)
- ⑤芦屋川カレッジの仲間
- ⑥習い事の先生・生徒
- ⑦所属のサークル・クラブの仲間(テニス・ゴルフ)
- ⑧ヨットのクルー
- ⑨居酒屋の飲み友達
- ⑩主治医

⑪お客様・・・等の候補があげられた。又、目標(何時までに何人に紹介)を設定して行動すると積極的な意見があった。対象となる人の条件はワイズ活動の基本である例会参加の時間的、地理的条件をクリアし、経済的には大きな負担とならない人を原則とする。尚、単に人間関係だけでの入会は長続きしないケースがあり、特にリタイアしてボランティアに関心をもち、活動を希望している人或いは既に活動している人が好ましい。注意点としてリタイアしている高齢者の中には独自の考え方を持っている方とか、又、若い人の中には年齢的なギャップに戸惑いをもったりで、それぞれ木目細かな対応が必要である。

2) 芦屋ワイズメンズクラブを紹介する方法

相手への声かけに躊躇することがあるが、割り切りと強い意志をもって話をする。又、説明が難しい、簡単に紹介できないとの意見があったが、会員各自がYMCA・ワイズについて正しく理解してワイズ活動の意義や楽しさを伝え、会員自身が相手から生き生きと見られることが必要。以下に芦屋ワイズメンズクラブの紹介のツール、方法並びに参画や協力について列記する。

- ①クラブ独自のトラクト(パンフレット)を作成(予算面から基本を全国のトラクトを利用し芦屋のトラクトを付け加える方法もある)
- ②例会に招致
- ③芦屋クラブの行事に参加してもらう(クリスマス祝会、さくら祭り、留学生交流会・・・)
- ④例会のスピーカーを依頼
- ⑤芦屋クラブの活動に協力頂く(ブリテンの英字版の作成協力)

- ⑥YMCAの行事に参加してもらう(YFフォーラム、チャリティラン、音楽会・・・)
  - ⑦ブリテンの活用(継続的に手渡す)
  - ⑧芦屋ワイズの知名度を地域への貢献活動等により高める
  - ⑨名刺の作成
  - ⑩ホームページの活用
  - ⑪ロースターの活用(⑩、⑪は会員自身がワイズに対する理解を深める目的もある)
- 3) 検討課題、その他
- ①トラクト作成
  - ②例会のあり方(スピーカー、プラスワン例会・シンプルな例会・・・)
  - ③ワイズの理解(費用負担の透明化＝無駄の排除、規則の整備、公平・公正な役割分担と透明性)
  - ④YMCAの理解(存在を高めてほしい)
  - ⑤名刺作成(裏面に芦屋ワイズの簡単で特徴的な活動などを記載)
  - ⑥アフターケア(候補者への継続的な情報の提供と根気強いフォロー)
  - ⑦長いスタンスで接触する(強く押すとひかれる)
  - ⑧芦屋ブランドが近寄りやすい印象を与えることもある。(芦屋在住の人以外?)
  - ⑨ワイズを芦屋地域以外の広い視野で紹介する

その後、YMCAニュース、誕生祝い、IBCアテンドへの感謝、議事報告、ニコニコ献金報告などのあと、定刻のほぼ9時に閉会点鐘が行われた。

井上雅司



IBCホームステイで感謝の品を受け取る上野メン

### 9月特別例会「EMC について熱く語ろう」



9月例会では、ビジター無しのクラブ研修として井上メンによって周到に計画・準備された議題が取り上げられた。

メンバー全員がワイズに対する疑問も含めて本音を語り、前向きにEMCに関して意見を交換することが出来た。YMCA やワイズメンズクラブ自体の問題点も指摘があったが、兎にも角にも会員増強の方向は支持された。メンバー全員のEMCに対する熱意を実行にするにあたり、提案された主な内容は次のようなものであった。

- 1) メンバーに誘いたい人を各自が具体的に絞る。(地理的・時間的・経済的・年齢などの条件も考慮することが有効である)
- 2) ワイズと芦屋クラブの理想と行動を紹介する魅力的なリーフレットを作成する。
- 3) このリーフレットと各自の熱意で、まずはワイズと芦屋クラブに対して興味と関心をもってもらう。
- 4) この人と思った人を例会に招待(1回目は食事代はクラブが持つ)して、関心を深めてもらう。
- 5) 入会の意思を示した人には金銭面を含めて十分なオリエンテーションを行い、できるだけ正確なクラブについての理解をしてもらう。
- 6) 入会後はスポンサーを中心にメンバー全員できめ細かいフォローをする。

7) 入会後は出来るだけ早い時期に、余り負担をかけない範囲でクラブの役目を担ってもらう。などが大体の総意であった。引き続き第二例会等で協議され、実行に移すことが会長によって宣言された。

島田 恒

## 六甲部会「メネットアワー」報告

六甲部メネットアワーは、部会の始まる前に開催されました。

今期メネット事業活動方針は、「豊島親愛館」にバスを送るとされています。親愛館は戦後間もないころ見放された子どもたちをキリストイエス団の賀川豊彦氏の勧めで豊島に開設された乳児院です。今期のメネット活動支援に共通するものとして素晴らしいと思っております。



宮田メネット主査の挨拶

六甲部メネット主査宮田泰子様は、家庭養護促進協会の橋本明氏の講演を企画され、私たちに次代を担う子どもの成長をとともに考えるよい機会を

与えていただきました。「親が、育てられない子供たちの今」と題され社会的養護体系として親がいない子供、親がい

てもさまざまな事情で共に暮らせない子供があります。家庭で育てられない子供はどこでどうして暮しているのか、里親、乳児院、児童養護施設、その他と別れますが、中でも、今私たちに一番訴えるものは昨今の新聞紙上で眉をひそめる信じられない事件です。児童虐待とは親としてしてはいけないこと(身体的、性的、心理的)親としてすべきこと、家庭が必要な理由は、基本的信頼(愛着形成)無条件で愛されることは心を育てること、親や家族のモデルを学ぶこと、生活の質の確立などが具体的な例を掲げて話され、良き隣人、周りの人との出会い、そして無関心こそが一番怖いこととまとめられました。橋本氏のその貴重な献金を豊島の神愛館にお送りいただいたと報告を受けております。ニュースとして眉をひそめるだけではなく現実に行なわれている信じられない話にショックを受け、中国では親がいてなぜ子供が育てられないのか?とされていることに改めて心の貧しさについて考えさせられました。続いての六甲部部会のハンドベルの音が心にしみました。



メネット会場

最後に宮田メネットから戴いたお礼状の中から・・・。「これからもメネットの活動が神と人に喜ばれる活動でありたいと願っております。」

柏原佳子

## ゲストスピーカー 野口義國 神戸西クラブ会長 プロフィール

東京生まれ、東大卒業後法務教官を経て弁護士に。神戸弁護士会少年問題対策委員長、兵庫県弁護士会人権擁護委員長を歴任。現在 兵庫県弁護士会人権擁護委員 同子どもの権利委員 神戸保護観察所保護司 神戸拘置所篤志面接委員  
☆学生時代より「非行少年」とつきあう事を楽しみにしているとのこと。「親をせめるな」教育資料出版会ほか多数の著書があります。

## 六甲部部会に参加して



ハンドベル演奏

9月11日(土)2010年度六甲部会は、さんだクラブ安行部長のもと、ホテルフルーツフラワーパークで開催されました。

初めてのフルーツフラワーパークでしたが、家族の憩いの場として、幸せの村と同等のコンセプトを持った素敵な施設だな、と思いました。

メネットアワーに引き続いて開催された「タイワークキャンプ・過去。現在。未来」と題するユースのパネルディスカッションは、20分という時間内に収まらず、時間オーバーでユースの具体的なディスカッションがなかったのが残念でした。

イングリッシュハンドベルに引き続いて、女声ジャズコーラスが雰囲気を盛り上げてくれました。さんだクラブメンバーも色々なメンバーが増えより活性化されているようです。

引き続き懇親会となりましたが、130



ジャズコーラス



DBC 締結式

人を上回る参加者で会場は盛り上がり、僧侶でもある安行部長の挨拶では、YMCAとキリスト教の話に及びどっと会場が沸きました。

神戸クラブと米子クラブのDBC締結式が、懇親会の中ほどで行われ祝福を受けました、

芦屋クラブからは桑野会長、飯田直前会長、井上メン、柏原ウイメン、羽太メンと上野が参加しました。今後の部会には、参加してはじめてわかるとも楽しい会なので、出席を奨励したいと思います。

上野恭男

**DBC もりおかクラブ便り (プリテン9月号より抜粋)**

## ◇第14回北東部会開催

9月4日、宇都宮市で開催。東日本区理事、他役員の方12名と東日本区の8クラブより57名(計69名)の方が出席。

来年は、この北東部会を我がもりおかクラブで開催。

◇もりおかワイズメンズクラブファンド わかしお石鱈の販売  
高級オイルのパームオイル(ヤシ油)を主原料としていまして、使用したお母さん方から、「手荒れがない」という評価。

◇「がんすけどん(岩手山)」七変化

岩手山は見上げる土地によって全く異なる姿を見せてくれる山なのです。独立峰ではなく、山脈の端に頂上がある山だからでしょう。分かっていても、見るたび私も感動します。(盛岡市から見る)

**9月第2例会・議事録**

日時：2010年9月22日(水)19:00~21:00

場所：市民センター 206 会議室

出席者：飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、橋本、羽太、福原、堀江、吉岡(12名)

**報告・協議・確認事項**

## 1) 今後の例会予定

- ・10月第1例会 スピーカー 野口善國メン(神戸西クラブ)
- ・11月第1例会 スピーカー 島田 恒メン
- ・12月クリスマス祝会 実行委員(桑野、柏原、上野、福原、井上、羽太)
- ・1月 第1例会 スピーカー 堀江哲次メン
- ・2月 第1例会 (2月16日) TOF 例会
- ・3月以降の例会にはゲスト・スピーカーを招くようにしたい。

## 2) 8月度の会計報告が羽太会計よりあり、承認。

3) ジャガイモ・ファンド 産地での不作のため、急遽60箱に減量要請があり、要請に応えることにした。上野メンより北海道産「インカのめざめ」というジャガイモの話があり、今後のファンドとして検討する。

4) BF 切手は、有効利用できるようファンド委員で検討する。

5) EMC 推進のための「芦屋クラブ案内」のリーフレット(トラクト)のたたき台が提出された。さらに改良案などを持ち寄り、早急に完成させたい。参考のため他クラブのものを集め。

6) 神戸YMCAより、「全国YMCAリーダー研修会」への協力金(¥21,000)の要請があり、了承された。

## 7) その他

・第2例会の出欠に関して、案内メールがあった時点で出席できない会員は「欠席」の返事をする。

・チャリティーランの協賛に関して、「竹園」に依頼、堤メンは例年通りの協賛をされる。

書記 羽太英樹

## ◇夏期プログラム、予定通り無事終了!

## ◇ユース委員会と125周年イベント

9月6日(月)ユース委員会と125周年実行委員会の合同の会を持った。1月8日(土)YYフォーラムを125周年記念行事キックオフイベントとしての実施予定等が話し合われた。

## ◇ワイズメンズクラブ六甲部会、開催

9月11日(土)六甲部会がフルーツフラワーパークで行なわれ、130名ほどが集り学びと交流の時となった。開会礼拝でさんだクラブの会員の2人の牧師先生がダブルメッセージ(奨励を二つ重ねる)をしてくださった。

## ◇国際協力募金、キックオフ!

10月1日から国際協力募金がキックオフ。昨年は神戸YMCAだけで585万円の国際協力募金、今年も多くの方々から募金を集めたい。12月12日(日)には元町大丸前にて街頭募金も予定、皆様のご協力を。

## ◇第5回日中平和交流の旅、開催

今年度は、第5回目として、天津市、瀋陽市、大連市を訪問する旅行を天津YMCAによって企画、9月22日(水)より26日(日)まで、5名のメンバーが訪問した。

## ◇ユープラ・親子でわくわくフェスティバル、開催

9月25日(土)、週末を親子で過ごすイベントがユープラザKOBE EASTで行なわれ、多くの親子の来場があった。

## ・今後の予定

## ◇秋のバザー・カーニバル(既報での変更部)

三田YMCA 地域オープンカーニバル

\* 10月31日(日)(当初の10月17日の予定から変更。)

## ◇第23回チャリティーゴルフ(既報)

日程：10月20日(水)

場所：キングスロードゴルフクラブ(三木市吉川町前田)

## ◇第13回神戸YMCAチャリティーラン

日時：11月3日(祝・水)午前9:00~午後3:00

場所：しあわせの村(神戸市北区)

## ◇余島キャンプ60周年記念式典

余島キャンプが1950年に開設後60周年。記念式典を開催いたします。

日時：11月13日(土)午後4:00~5:00

場所：日本キリスト教団神戸教会

メッセージ：今井鎮雄顧問

\* 10月に予定した「午餐会」は来年2月に延期。

**ユースプラザKOBE・EASTプログラムのご案内**

## ◇シリーズ・作家で学ぶ絵本の世界 I 日本の作家(1)

日時：10月9日(土)14:00~15:30

講師：正田眞次(学座「とうごまの葉の下」代表)

参加費：525円

## ◇第19回フリーマーケット

日時：10月16日(土)11:00~16:00

## 編集後記:

急に秋らしくなりました。今年は不作のようですが、ジャガイモが美味しいときです。ファンドにご協力頂いた方に感謝致します。

堀江哲次